

1-1 コンセプト

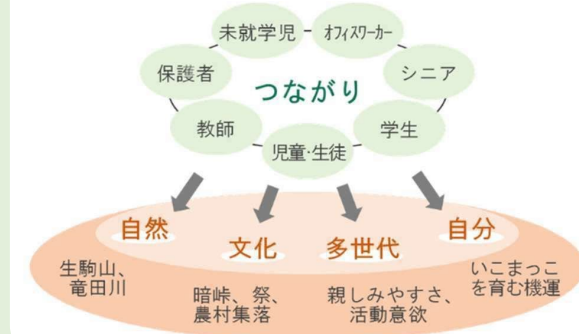
■目指す学校像

[基本構想や第三次生駒市教育大綱をもとにした学校像]

- ・自分に合った居場所を、自分で選び学べる【個別・協働の学び】
- ・互いの個性を認め合い、誰もが等しく楽しめる【インクルーシブ】
- ・多世代とつながり、地域とともに育める【地域とともにある】



共創スタジオ参加者からの期待



■コンセプト

『一人ひとりが根を張り、地域とともに創る”学びの森”』



■空間計画のキーワード

彩る

- ・人数・活動に応じた多様な居場所
- ・天井高さ、広さなど空間の大小
- ・感性を高める様々な素材や色彩

響きあう

- ・地域・自然とのつながる場
- ・緩やかなエリアの重なり
- ・有機的な環境・形態

巡りゆく

- ・歩き回って楽しい空間
- ・屋内外をめぐり、出会う
- ・多世代がまじわり継承する

## 2 配置計画



①プロムナード南口



②プロムナード東口



③協創ひろば（将来整備）



鳥観



## 3-1-① 外観デザイン 校舎棟

### 1. 基本方針

- ・ 生駒山の山並みと調和する森のような学び舎とすることで、地域に親しまれる学校とする。
- ・ 校舎のプランに合わせた有機的な形状のテラスや、樹木形状の耐震フレーム、仕上げをアースカラーとすることで、森のような外観デザインを実現する。
- ・ 敷地のレベル差（南北で4.0m）を活かした、段丘形状の校舎とし、ランドスケープと一体的な景観を形成する。

### 2. 外装計画

- ・ 周囲の景観に馴染みつつ、南生駒のシンボルとなる外観デザイン【地域性】
- ・ 中長期的な美観を維持しやすく、更新しやすい素材を選定【清掃・更新性】
- ・ ZEB-ready相当の省エネ性能の確保【省エネ】

#### 【外壁】

- ・ 窯業系サイディングとし、周辺景観の色合いになじみやすいセメント調の材質とする。

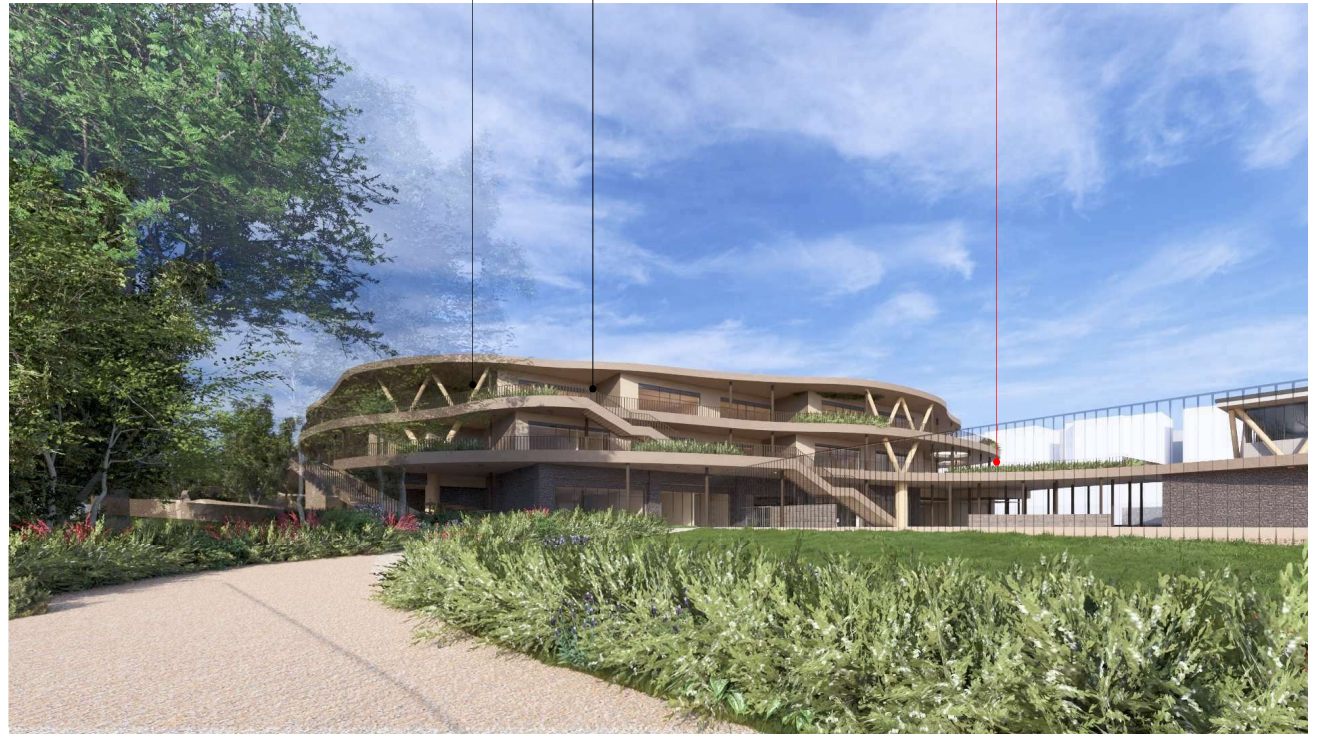
#### 【屋上】

- ・ RCスラブ+アスファルト系塗膜防水とすることで、シームレスな防水層を構成し、改修時も塗り重ねでの対応が可能な計画とする。

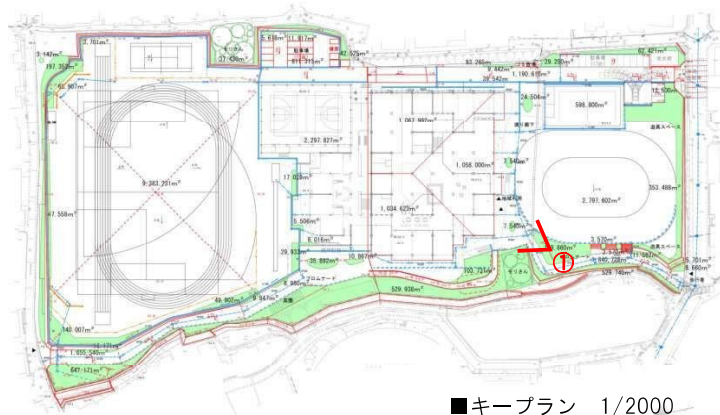
有機的なテラス形状と  
樹木形状の耐震フレーム

段丘形状とすることで  
ランドスケープと一体的な景観形成

校舎棟とサブアリーナを繋げ  
伸びやかな外観計画とする。



① 北側プロムナードからのアイレベル



■ キープラン 1/2000



▲ 前回提示パース

## 3-2 外観デザイン アリーナ

### 1. 基本方針

- アリーナは合理的な箱型形状としつつも、低層部と高層部を分節することで、圧迫感を低減し、校舎やランドスケープとも調和する外観計画とする。
- メインアリーナは軽やかな屋根形状とすることで、周辺への圧迫感を低減。
- サブアリーナはサブグラウンドに対して開放的なデザインとする。また、校舎棟と同様に耐震性とデザイン性を兼ねた樹形フレームを採用することで、校舎とアリーナの一体感のある外観計画とする。

### 2. 外装計画

- 周囲の景観に馴染みつつ、南生駒のシンボルとなる外観デザイン【地域性】
- 中長期的な美観を維持しやすく、更新しやすい素材を選定【清掃・更新性】
- ZEB-ready相当の省エネ性能の確保【省エネ】

#### 【メインアリーナ】

- 外壁：吹付塗装とすることで、砂ぼこりなど汚れが目立ちにくい計画とする。
- 屋根：金属屋根とすることで、漏水のリスクを軽減しつつ、メンテナンスコストを抑えた計画とする。

#### 【サブアリーナ】

- 外壁：1階レベルはRC、2階レベルは窯業系サイディング+水平ガラスとする。外周を回る樹形フレームは耐震性の向上や大開口を支える役割を持ち、構造デザインと外観デザインの整合のとれた計画とする。
- 屋根：金属屋根（縦葺き）とすることで、3/100の勾配で水平性のある大屋根となるよう計画。東から西への片流れとし、メインとなる東面には堅樋のない計画とする。



ハイスайдライトで採光を確保

ECP+吹付塗装

①メインアリーナ外観

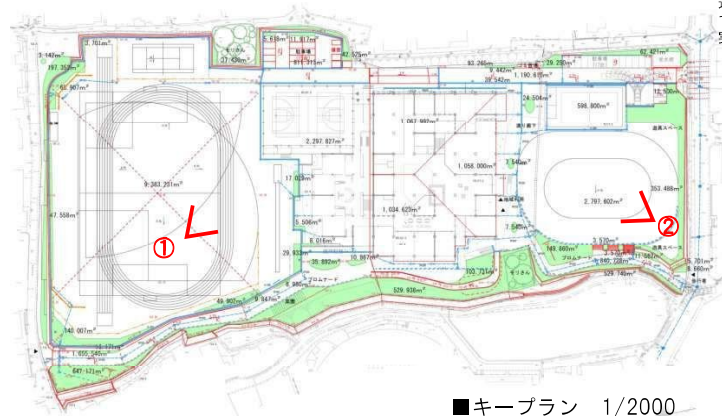


ハイスайдライトで採光を確保

窯業系サイディング

RC+吹付塗装

②サブアリーナ外観



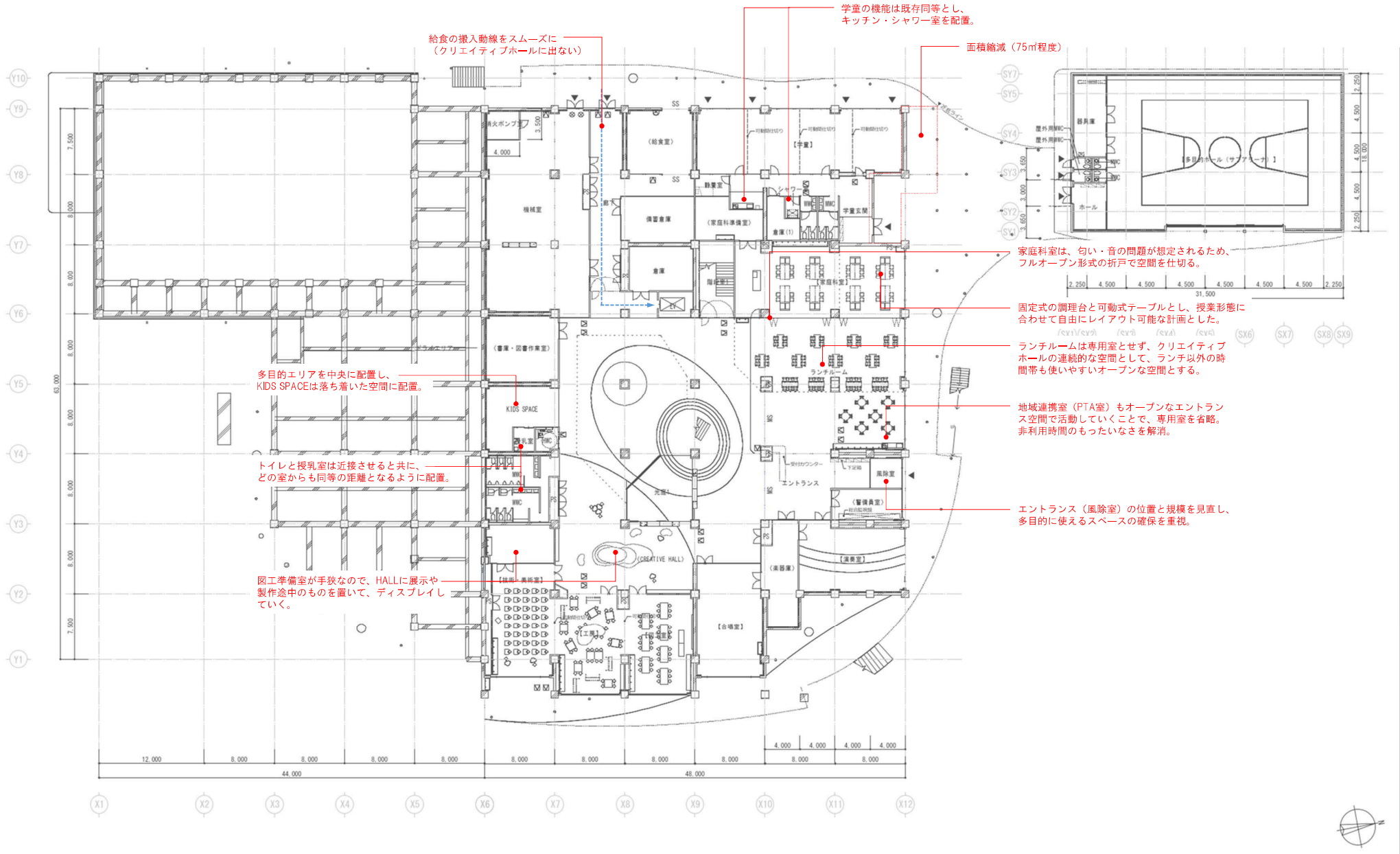
連続するスラプラインで一体的なデザインを実現

大開口を設けることでサブグラウンドとの一体利用を促進

連続するスラプラインで一体的なデザインを実現

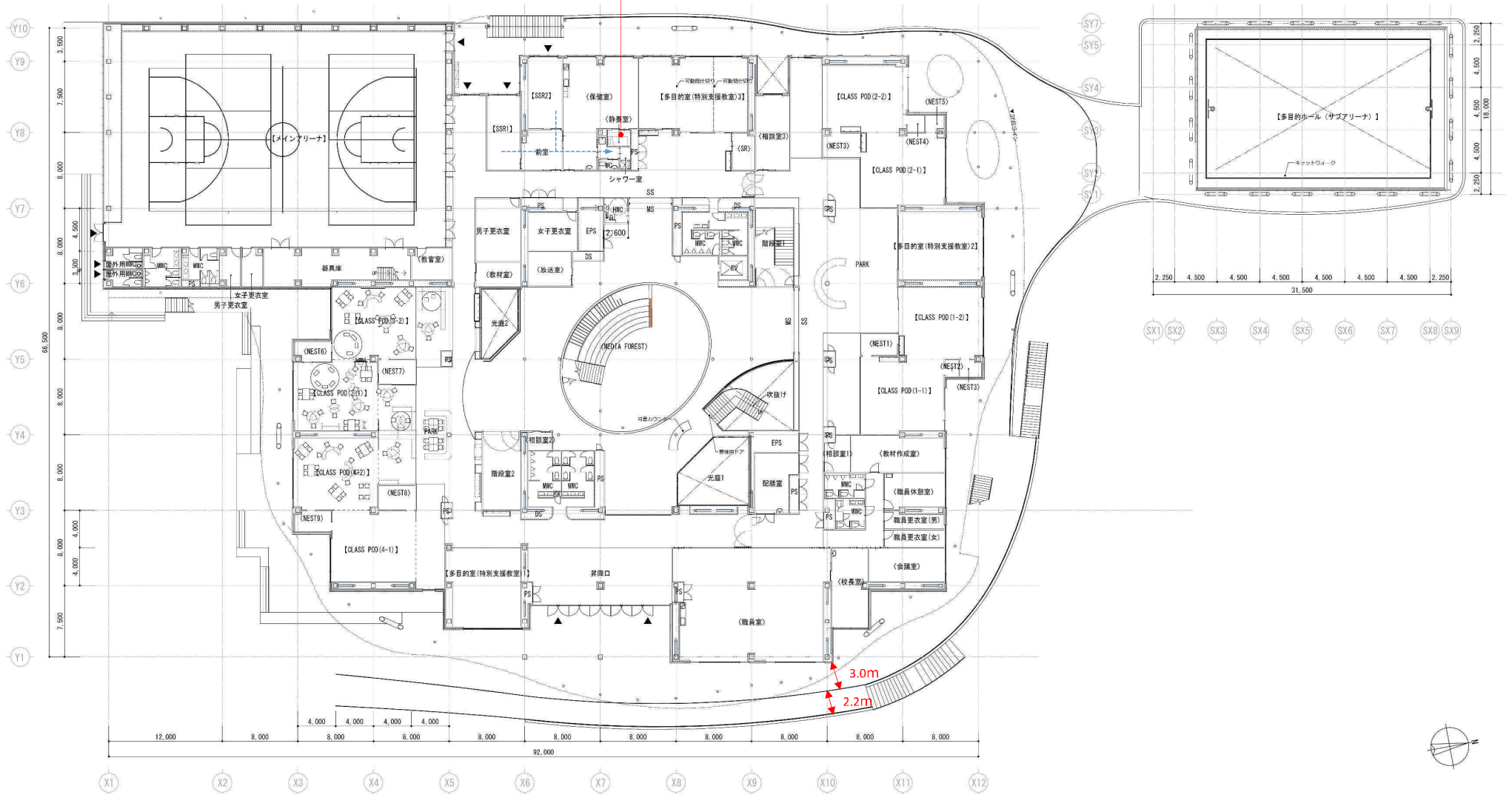
校舎棟から連続する樹形フレーム

# 4-1 平面計画 1階平面図

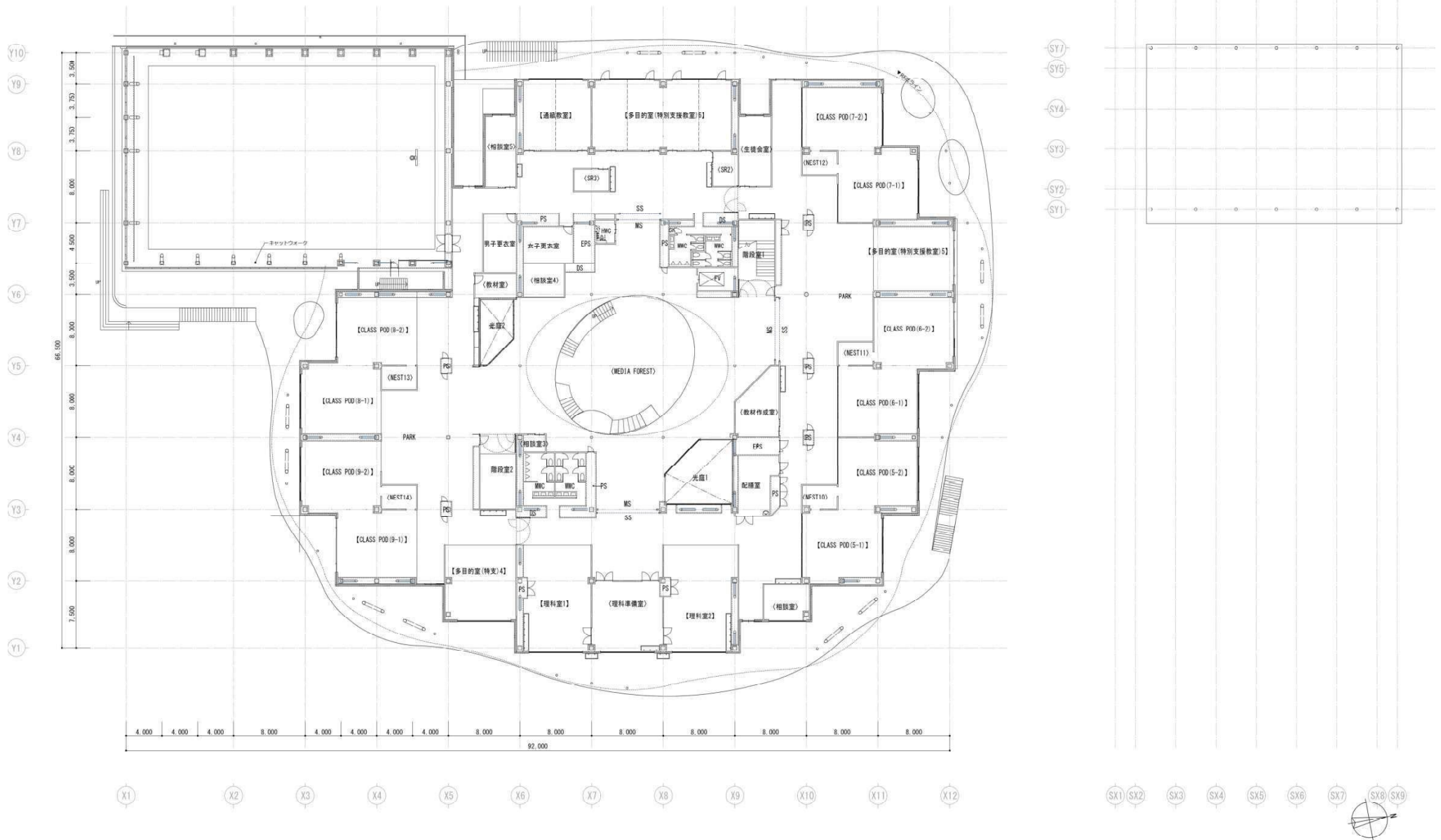


# 4-2 平面計画 2階平面図

SSRに通う児童・生徒が近接したエリア内で学校生活を完了できるように、シャワー室・WC・静養室を計画。



# 4-3 平面計画 3階平面図





## 5-1 内観デザイン MEDIA FOREST

### 1. 基本方針

- ・ 森に包まれたような環境で、異クラス・異学年の仲間、地域の人々との協働的な学びや交流を促す。
- ・ 多世代が集う大空間の中に、自分に合った居場所を選べるように、多様な小さいスペースを点在させる。
- ・ 森の樹木をモチーフにした構造架構を見せるデザインかつ、ハイサイドライトによる自然採光により、象徴的な空間とする。
- ・ 大階段では約2万冊の蔵書数を確保し、学内や地域発表会にも活用できる。各PARKへアクセスする動線の中心空間とする。

### 2. 内装計画

#### 【床】

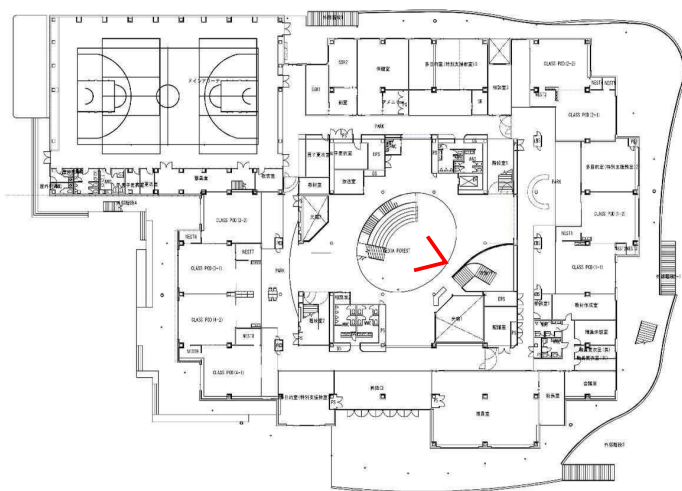
- ・ タイルカーペットとすることで、寝転がったり、地べたに座ったり、より豊かな活動を実現する。

#### 【壁】

- ・ 硬質石こうボード+塗装仕上とすることで、壊れにくく補修しやすくする。

#### 【天井】

- ・ 木調シートとすることで、木々に囲まれた温かみのある空間とする。

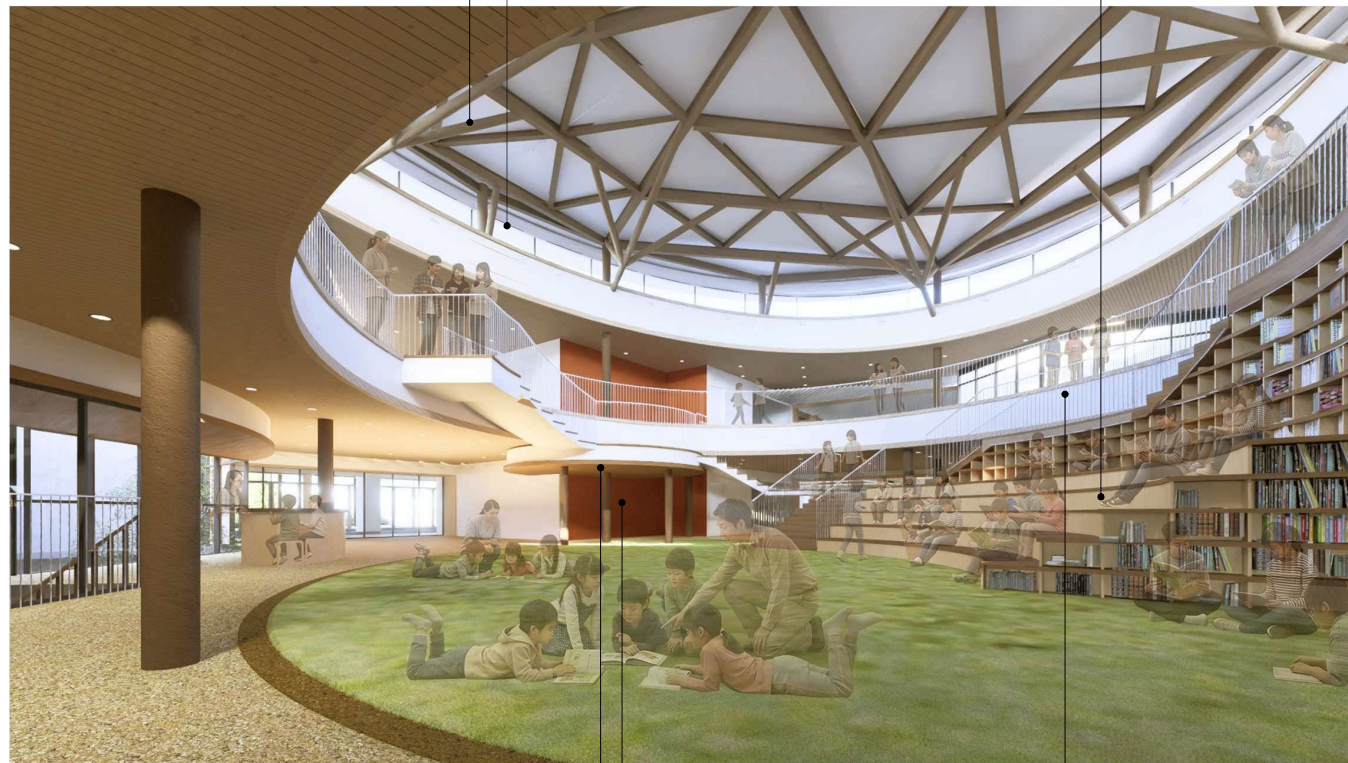


■キープラン 1/800

構造架構を見せるデザイン

ハイサイドライトによる自然採光

大階段は蔵書数約2万冊  
発表会にも利用可能



天井レベルに変化を与えることで  
多様な居場所を創出

壁の凹み部分は色付きクロスとす  
ることで多様な居場所を創出

①MEDIA FOREST 内観

手すりは透け感のある仕様として  
上下階の繋がりをつくる

## 5-2 内観デザイン PARK

### 1. 基本方針

- ・ 大小の広さの異なる、活動・人数規模に応じた様々なスペースで彩られ、異クラス・異学年がゆるやかに繋がりが居場所を選べる計画。
- ・ メディアフォレスト側の壁面はベンチや棚等を設え、学年単位の彩りを児童生徒自らつくれる空間とする。また、メディアフォレストや隣接するパークの境目はゲートを設置することで、領域感を創出する。
- ・ 閉塞感なく軽やかな空間を実現するため、メッシュ天井とする。生徒が自ら作りこむ空間として、壁面だけでなく天井からも展示物が吊り下げられるように計画。

### 2. 内装計画

#### 【床】

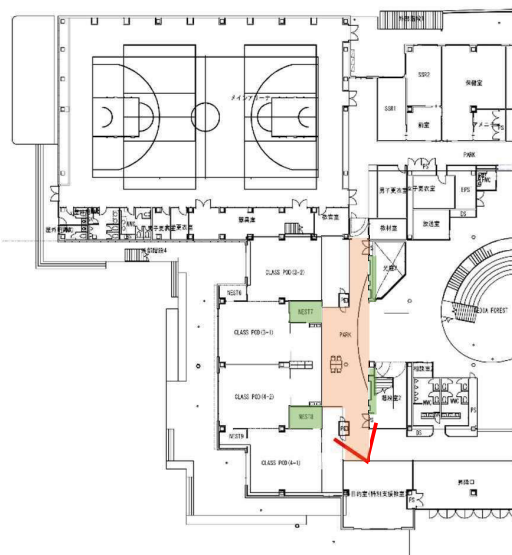
- ・ ビニル床シートとすることで、床の継ぎ目が少なく汚れがたまりにくい計画とした。

#### 【壁】

- ・ 硬質石こうボード+塗装仕上とすることで、壊れにくく補修しやすくする。
- ・ メディアフォレスト側の壁面は鉄板+ビニルシート貼りとすることで、マグネットによる掲示が容易な計画とする。

#### 【天井】

- ・ メッシュとすることで、開放感のある空間を計画する。



■キープラン 1/800



内観パース(PARK(3・4年))

①PARK 内観

## 5-3 内観デザイン CLASS POD

### 1. 基本方針

- 8m×12mのCLASSPODの中で、NESTや様々な家具を計画することで、より自在な学びを促す空間。
- 白と木でつくられた明るい学びの空間に、NESTの壁面をアクセントとして活用し、従来の教室の単調さを感じさせない計画。
- 天井高さは2.6mに設定し、設備ルートの経路を確保。方向性を感じさせない照明計画とし、動きのある天井デザインとした。

### 2. 内装計画

#### 【床】

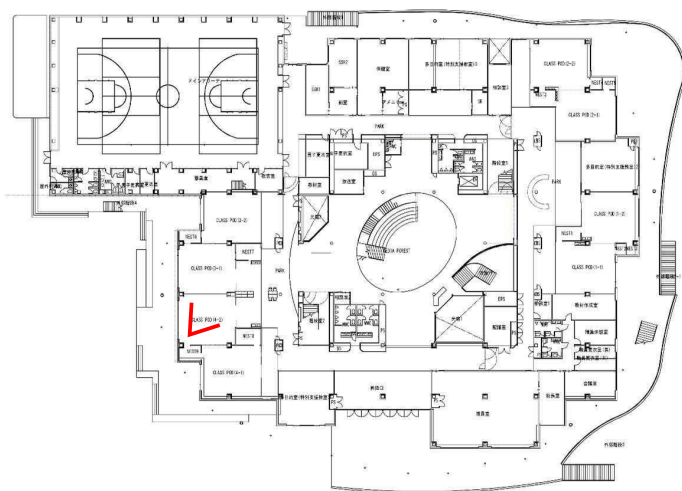
- ビニル床シートとすることで、床の継ぎ目が少なく汚れがたまりにくい計画とした。

#### 【壁】

- 硬質石膏ボード+塗装仕上とすることで、壊れにくく補修しやすくする。
- NESTの壁面は土壁風クロスやコルクボードとすることで、温もりのある空間とする。

#### 【天井】

- 穴あき石膏ボードとすることで、教室に必要な吸音性能を確保する。



■キープラン 1/800



白と木調で明るいクラスポット

NESTを囲う壁面は自然の温かみを感じるような土壁風クロスやコルクボードを採用。また、安心できる空間となる様に、くぐり口の高さを設定する。

8m×12mモジュールが連続するように開口部は大きく確保

方向性を持たない自由な活動空間として計画。

生徒の自在な学びを促せる家具計画。

①CLASSPOD 内観

## 5-4 内観デザイン CREATIVE HALL

### 1. 基本方針

- 特別教室の活動を共用部へ展開させることで、空間をめぐる時に多様な学びと交流を生み出せる計画とした。
- 大空間の中心には光庭と2階のMEDIA FORESTへ連続する大階段を設けることで、上への連続感のある空間とした。
- 見通しがよく、地域が利用しやすい空間とした。

### 2. 内装計画

#### 【床】

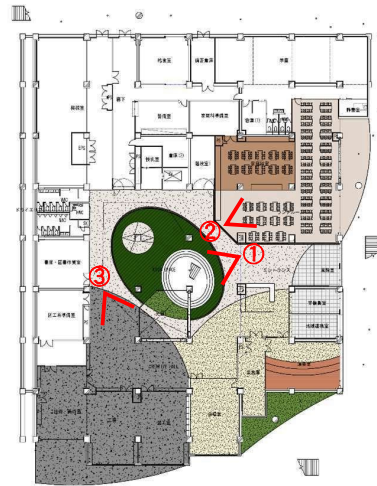
- エントランス周りは、耐久性の高いビニル床タイルとし、台車を出し入れなどに配慮した。
- 一部タイルカーペットとすることで、寝転がったり、地べたに座ったりと、より豊かな活動を実現する。

#### 【壁】

- 硬質石こうボード+塗装仕上とすることで、壊れにくく補修しやすくする。

#### 【天井】

- ストランドボードとすることで、吸音効果と素材感のあるデザインを両立する。



■ キープラン 1/800

※インテリアデザインについては、詳細検討中

床材は外構の舗装を連想させるような石調ビニル床タイルとする。

天井は素材感と吸音効果のあるストランドボードとする。

外壁と同じRC+クア7塗装を採用することで、半屋外感を演出する。



1階 エントランス正面

光庭周りはRCブレースとすることで採光を確保。

タイルカーペット

① CREATIVE HALL吹抜け階段



②家庭科室・ランチルーム



③CREATIVE HALL(工房エリア)